

自己評価表

2024年3月実施

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	備考
1	子どもの利用定員(20人)に対して十分なスペースがある	10			
2	職員の配置数は適切である	10			
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1	1	
4	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			
5	活動プログラムの立案をチームで行っている	10			
6	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			
7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10			
8	支援開始前には職員間で必ず打合せをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			
9	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1		
10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の改善につなげている	10			
11	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10			
12	日頃から子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			
13	子どもや保護者からの苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			
14	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			
15	個人情報に十分注意している	10			
16	ガイドラインの総則の基本活動(※1)を複数組み合わせさせて支援を行っている。	10			
17	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している	10			
18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			
19	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			
20	食物アレルギーのある子どもについて配慮している	10			
21	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			

※1：基本活動とは「①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供」